

贈正二位和氣清麻呂公贊 為_二座田_一老台^①

人自_レ非_ル剛_ニ焉得_レ仁_ヲ 或_ハ為_二義士_一或_ハ忠臣

請_フ看_ヨ鐸_石裔孫_在 掃_二蕩_シ妖氛_ヲ清_ム紫宸_ヲ

微_レ公_天日_不得_レ中_{スルヲ} 公_乃当_レ朝_一第_一功

千_歳君_臣存_ス道_義_一 優_恩詔_下表_ス誠_忠_一

梁川星巖『日支峰影集』（『星巖全集』第二卷）

- ① 座田維貞（寛政十三年・一八〇〇～安政六年・一八五九）天保六年（二六三三）『国基』を著し
孝明天皇に献上、弘化三年（二八四〇）学習院の創設に貢献し雜掌となり、和氣公の贈官位を建議。
- ② 鐸石は垂仁天皇の皇子の鐸石別命^{トクイ}、その子孫が備前の藤野別真人（和氣朝臣）清麻呂である。
神護景雲三年（七六九）宇佐大神の託宣を復奏し、君臣の分を乱す法士道禿の妖氛を一掃した。
- ③ 孝明天皇は①の建議を嘉納され、嘉永四年（二八五二）三月、和氣公に「護王大明神」の称号と
「正一位」の神を追贈する詔を下された。明治十九年（二八八六）別格官幣社「護国神社」創建。
- ④ 梁川星巖（寛政元年・一七八九～安政五年・一八五八）美濃出身の漢詩人。弘化三年（二八四〇）
から京都の鴨沂小隱（自邸）などで勤王志士と交り皇室公家への建言や周旋に尽力した。